

令和 2 年度 第 7 回理事会議事録

開催日：令和 3 年 1 月 9 日（土）

時間：10：00～12：08

場所：Zoom による Web 会議

出席：真田、松田、佐藤、竹川、狩野、大崎、安部、藤原、井関、藤田、湊、森、
菊口、千田、矢野、南、中町参与、東塚監事、笠舞監事

欠席者：綿貫、澁谷、池本、住ノ江

理事 16 名の出席により会議は有効裡に開催された（現在の理事数 20 名）。

なお、開催前に出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることを確認している。

議事録署名人の選出：真田浩一、東塚監事、笠舞監事を選出した。

議事録作成：南

I. 会長報告（報告者：真田会長）

【報告事項】

1. 日臨技近畿支部関連

なし

2. 兵臨技関連

- 1) 12 月 12 日（土）糖尿病療養指導士兵庫県連合会 Web 理事会 出席
- 2) 12 月 20 日（日）兵庫県プライマリ・ケア協議会令和 2 年度総会 出席
- 3) 12 月 29 日（火）税理士法人 鳩合同会計事務所
代表社員税理士 飯塚 敏勝先生と顔合わせ
- 4) 1 月 7 日（木）学術部会（Web） 出席

【審議事項】

1. 経理顧問の変更について

今よりも幅広く法律や税金に関して相談に応じてくれる、鳩合同会計事務所に経理顧問を変更したいがどうか

→承認。次年度の予算編成も控えているので、出来るだけ早期に変更手続きを行う。

II. 日臨技報告

【報告事項】

なし

【審議事項】

なし

III. 業務執行報告

(報告者：松田副会長、佐藤副会長、南事務局長、竹川経理部長)

業務執行理事による業務執行状況報告を行った。綿貫副会長は職務のため欠席。

IV. 部局報告と審議

<事務局> (報告者：南事務局長)

【報告事項】

1. 兵庫県放射線技師会より賀詞交歓会開催中止のお知らせ
2. 日臨技より都道府県技師会の理事会開催時における宮島議員の招聘について
3. 第7回医療と介護の総合展【大阪】についてのお知らせ
4. 兵庫県健康財団より令和3年度兵庫県健康財団がん研究奨励賞及び腎研究奨励賞に係る研究課題の募集について
5. 兵庫県健康財団より令和3年度兵庫県健康財団結核対策・研究奨励賞に係る課題の募集について
6. 4月9日「子宮頸がんを予防する日」集中キャンペーン寄附のお願いについて
→寄附は見送る
7. 日臨技より臨床検査技師の卒然教育の見直しに関する省令改正案のパブリックコメント意見募集について
【参考 URL】「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」報告書
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10734.html
8. 厚生労働省医政局医事課より、押印を求める手続きの見直し等のための厚生労働省関係省令の一部を改正する省令の施行等について
9. 日臨技より、11月締め分の会費の送金について

【審議事項】

1. 公益法人検査の結果に対する改善状況報告書について
→報告書の内容について承認。公文書として兵庫県の公益認定等委員会に送付する。
2. 兵庫県に緊急事態宣言が発出した場合の事務所の勤務体制について
→感染対策を徹底し通常勤務を続ける。感染状況が変われば再度検討する。

<総務部>（報告者：池本総務部長）

【報告事項】

1. 会員数（月末集計）

	会員数	会員数内訳			年会費入金内訳		
		継続	新規	兵臨技のみ	入金済 (うち送金待)	免除	未入金
令和元年度	2296						
R2年10月	2346	2190	156	177	2293 (2)	25	28
R2年11月	2350	2190	160	176	2298 (2)	25	27
R2年12月	2350	2185	165	176	2295 (0)	28	27

	施設数			会員数		
	R2年10月	R2年11月	R2年12月	R2年10月	R2年11月	R2年12月
神戸地区	128	127	127	914	915	912 ↓
阪神地区	65	66	66	489	491	492 ↑
丹担地区	14	14	14	98	98	99 ↑
東播地区	50	50	50	438	438	439 ↑
西播地区	46	46	46	391	391	392 ↑
その他				16	17	16 ↓
合計	303	303	303	2346	2350	2350

【審議事項】

1. 入会、退会

- 1) 賛助会員入会：なし
- 2) 賛助会員退会：(株)堀場製作所
- 3) 会員入会：10月5名、11月4名、12月5名
- 4) 会員退会：10月7名、11月1名、12月4名
→承認

<経理部>（報告者：竹川経理部長）

【報告事項】

1. 予算管理月報について 12月末日
2. G表について 12月末日
3. 広告状況について 12月末日

【審議事項】

1. 令和3年度予算編成会議について（Web開催）
臨時総会を3月20日（土）に開催する方向で調整。2月13日に理事会を開催して議案書と予算案の決をとり、総会の1か月前の2月20日までにHPにUP出来るようにする。そのためには1月25日～29日の間で予算編成会議を開催する必要がある。
→事前に資料を準備しWebで開催する。日程は後日調整する。

<渉外部>（報告者：安部渉外部長）

【報告事項】

1. コロナウイルス禍、会員施設状況把握アンケートについて
令和3年2月に実施予定。2次元バーコードのドット欠けを考慮して同期間兵臨技HPにも掲載する（URLも掲載）。
2. 災害医療関係の研修について（1/25申込締切）
主催：兵庫県災害医療センター、神戸大学 共催：兵庫県医務課

【審議事項】

なし

<組織部>（報告者：大崎組織部長、森理事、井関理事、菊口理事）

【報告事項】

1. 令和2年度 第2回西播地区 地区会議（Zoom）
令和2年12月23日（水）18：30～20：00
会議録（資料07-01①、資料07-01②）

【審議事項】

1. 令和2年度 東播地区施設責任者・連絡者会議（Zoom）
令和3年2月20日（土）10：00～11：30
・事前に各施設から質問事項を募集しておく。
→承認
2. 令和2年度 第2回丹但地区 地区会議（Zoom）
令和3年2月27日（土）16：00～（丹但地区研修会終了後）
→承認

<広報部>（報告者：住ノ江広報部長）

【報告事項】

1. ホームページ（HP）への新規および更新掲載

- ・行事予定表の修正・承認の連絡
- ・他
- 2. 広報会議
 - ・開催なし（2月合併号・HYOGO ジャーナルのため1月頃を予定）
- 3. HP 作業時間
 - 住ノ江：1時間
 - 新田：1時間
 - 渡邊：0.5時間
- 4. HYOGO ジャーナル執筆依頼

【審議事項】

1. HYOGO ニュース 1、2月合併号のカラー印刷開始について
→承認

＜学術部＞（報告者：藤原学術部長、真田会長）

【報告事項】

1. 第7回学術部会報告（Web形式）

【審議事項】

1. 精度管理報告会の開催について（ZoomによるWeb開催）
令和3年2月28日（日）14：00～17：00
 - ・現状のZoom契約だと参加者の上限が100名なので、タイムスケジュールで部門を2つずつくらいに区切って参加者を募集し、出来るだけ多くの一般会員が参加できるように調整してはどうか。（松田副会長）
 - Zoomの契約で100名以上参加できるプランへの変更や、スポットでの契約が可能か検討する。（真田会長）
2. 資料作成費について
→新任の顧問に相談して今後の対応を決める。方向性が決まるまでの研修会については、内規に沿って運用する。（真田会長）
3. 小林病理研究班長より、兵臨技サーベイで使用した写真の転用許可について
依頼者：兵庫細胞検査士会（鳥居会長）
転用先：細胞検査士会のカンファレンス
→承認

＜精度管理事業部＞（報告者：狩野精度管理事業部長）

【報告事項】

1. 令和2年度（第40回）兵臨技精度管理調査について

- 1) 精度管理費用の納金状況 (R2.10.31 期限)
現在：参加 138 施設うち 3 施設未納。メールにて複数回催促に加え、電話にて催促も実施。
- 2) C 評価施設への通知開知
各研究班長を中心に、中町参与の全面的バックアップで実施中。
2. 令和 2 年度精度管理調査検討会
期日：令和 3 年 3 月 13 日 (土) 15:00~17:00
会場：兵庫県医師会館 6 階会議室
開催形式については、Web 開催も提案したが、感染対策を実施した上で 300 人収容できる会場にて最大 100 人の制限を設けて現地開催することに決定した。人数制限をかけるため兵臨技からは案内しない。
3. 令和 2 年度精度管理調査検討会打合せ会におけるその他の協議内容
 - 1) 精度管理調査のあり方について協議する県医師会の窓口を依頼
 - 2) 今後の検討課題として以下について提示された。
 - ① 衛生検査所を対象にブラインドサーベイの実施
 - ② JCCLS の共有基準範囲使用の推進
 - ③ ALP-IFCC、LD-IFCC、ALB-BCP 改良法への変更推進但し、会議に参加している臨床検査技師としての提案であるので県医師会の意向かを確認 (①については西宮市医師会理事からの提案)
 - 3) 兵臨技はクリニックなどへの精度管理調査の拡大を検討中

【審議事項】

1. ブラインドサーベイの実施について
県医師会で協議中。今後、要請があれば兵臨技として前向きに対応していく方向性で良いか。
→正式に要請が来たら再度審議する。
2. 兵臨技として ALP と LD は IFCC 法、ALB は BCP 改良法への変更を強く推奨してはどうか。
→承認。兵臨技としても推奨すべき案件なので、文面を作成し 2 月の理事会で承認後、会員に向けてアナウンスする。

<公益事業部> (報告者：澁谷公益事業部長)

【報告事項】

1. 令和 2 年度 検査セミナー
開催日：令和 2 年 12 月 5 日 (土) 14:00~16:00
開催場所：兵庫県民会館 パルテホール
内容：“がん診療における循環器合併症” ~より長期の生存のために~

事業報告書（資料 11-01①、資料 11-01②）

【審議事項】

なし

●次回理事会

第 8 回理事会（Web 開催） 令和 3 年 2 月 13 日（土） 10：00～

第 9 回理事会（Web 開催） 令和 3 年 3 月 13 日（土） 10：00～


●令和 2 年度臨時総会 令和 3 年 3 月 20 日（土） 13：00～

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人が署名捺印する。


議 長

真田 浩一 

議事録署名人

東塚 伸一 

議事録署名人

立崎 和花 

令和2年度 部会・班会議 開催報告書

会議名	令和2年度 第2回西播地区 地区会議		
日時	令和2年12月23日 18:30～20:00		
場所	ZOOMによるWEB会議		
出席者	参加施設:姫路医療センター、赤穂市民病院、兵庫県臨床検査研究所、姫路聖マリア病院、姫路循環器病センター、公立神崎総合病院、ツカザキ病院、姫路中央病院、姫路赤十字病院、製鉄記念広畑病院、赤穂中央病院、姫路市医師会、城陽江尻病院 (計13施設16名)		
欠席者			
議長	菊口	書記	土手

議事録（記載はサマリー形式で箇条書きとする）

【審議事項】

1. 第12回西播地区研修会について

- ・研修会はZoomによるWeb形式で行うこととする。
- ・研修会の日時は4月下旬～5月上旬の日曜・祝日予定とし、2021年4月25日（日）に仮決定したが、講師の先生のスケジュールに合わせ決定する。
- ・テーマ・内容：タスクシフティング・シェアリングについて
- ・研修会内容は事前アンケートによる回答より決定した。（アンケート結果については「3. アンケート結果」参照）
- ・選定理由：タスクシフティング・シェアリングは、臨床検査技師にとって重要な案件であるので、研修会を行い、多くの皆さんに知っていただいた方が良くと判断されたため。実際の施設におけるタスクシフティングへの取り組みをご講演いただくのも検討する。
- ・アンケート結果の他の案も必要性が高いと思われるので、7月の研究発表会に取り入れる方向で進めていく。

2. 令和3年度西播地区研究発表会・市民公開講座について

- ・日時：7月25日（日）予定
- ・会場：太子町文化会館あすかホール、Web（Zoom）
- ・今回は会場とWebでのハイブリッド形式で行う予定。
- ・会場定員150名となっているが、実際に会場で席の配置を確認してから、会場参加人数を決める。（発表者、共同演者、演者の施設数、当番病院、役員など、演題が決まりしだい決定する。）
- ・Zoomの参加人数上限が100名と限られているため、可能な限り各施設にて集まり閲覧していただくようお願い（案内）する。
- ・市民公開講座については、一般市民が対象のため、コロナ感染拡大防止の観点から今年度は中止とする予定。
- ・市民公開講座が中止の分、研究発表会を充実させる。※ 昼休憩をはさまず、半日で少し長めに行う予定。
- ・内容に関しては、アンケート結果の内容を中心に計画する。
- ・トラブル無くスムーズに行えるよう、事前にZoomの接続・動作確認や通信環境の確認を行う。各施設とも接続チェックを行う予定。
- ・準備は来年以降に始めていく。

※ テーマに相応しい演者候補の方がおられましたら、ご連絡をお願いします。

3. アンケート結果

研修会で取り上げてほしいテーマ・内容についての事前アンケート。

- ① 新型コロナウイルス感染症について
 - ・他施設はどのように行っているのか（検査方法、検査材料、検査時間、感染対策など）
 - ・全般的な知識（検体採取、検査法など） など
- ② 新人・当直者の教育について
 - ・他施設での新人教育をどのように行っているのか
 - ・各分野の基礎的な内容
 - ・専門分野の内容 など
- ③ 検体の処理方法について
 - ・採血検体、病理検体、細菌検体の処理方法 など
- ④ 医療安全管理対策について
 - ・ニアミス、クレーム対応
 - ・検体・患者取り違い対策 など
- ⑤ タスクシフティング・シェアリングについて
 - ・真田会長よりタスクシフティング・シェアリングについての説明をしていただいた。
 - ・今後、臨床検査技師対象の研修会が行われる予定（1月から日臨技のHPにて、「臨床検査技師に対するタスク・シフティング業務啓発事業」について、ビデオの視聴が出来る予定）

4. その他

新型コロナ感染症対策についての意見交換の実施

…各施設のPCR検査・LAMP法について、検査の時間、検査体制などの意見交換を行った。

報告年月日 : 令和2年12月31日

報告者・役氏名:

組織部 菊口 圭介

事業報告書

事業部局・責任者	公益事業部 澁谷 雪子
事業名	令和2年度検査セミナー
企画担当者	兵庫県立がんセンター検査部 検査技師長 幸福 淳子 兵庫県臨床検査技師会 公益事業部長 澁谷 雪子
運営責任者	兵庫県臨床検査技師会 会長 真田 浩一
開催日時	令和2年12月5日(土) 14:00~16:00
開催場所	兵庫県民会館 パルテホール (※ZoomによるWeb開催を併用)
内容	
プログラム	令和2年度検査セミナー
テーマ	“がん診療における循環器合併症”～より長期の生存のために～
講師	講演1. 演題名:未定 演者:佐藤 洋(関西電力病院 臨床検査部技師長) 講演2. 演題名:がんセンターにおけるCAT(がん関連血栓症)の実態 演者:野中 顕子(兵庫県立がんセンター 循環器内科部長) 講演3. 演題名:がんセンターにおけるCTRCD(がん治療関連心機能障害) ～早期発見における取り組み～ 演者:福田 優子(兵庫県立がんセンター 循環器内科医長)
座長	1 八杉 秀美 (兵庫県立こころの医療センター 検査技師長) 2・3 村山 徹先生 (兵庫県立がんセンター 検査部長兼血液内科部長)
参加者数	38名(会場24名、Web14名)
実務委員	
運営状況・感想	別紙報告

報告年月日 : 令和2年12月22日

報告者・役氏名 :

公益事業部長 澁谷 雪子

運営状況・感想

令和2年12月5日に開催された検査セミナーにWeb参加を行い、著名な先生方のご講演を拝聴することができました。

演題1の佐藤先生のご講演ではがん治療に関連する合併症として、心筋障害、血栓塞栓症、末梢血管疾患および脳梗塞を中心に、これらの検査に関わるエコー検査や脈は検査など、臨床検査技師として関わる機会の多い内容について解説いただきました。

2演題目、野中先生はがん関連血栓症について、血栓症のリスクはがん初回治療時と終末期に高い傾向を示すという報告をいただきました。特に腫瘍による静脈圧排が認められる、婦人科系がんや悪性リンパ腫などではがん初期・中期のVTE(深部静脈血栓症)発症が多く、これらのがんは予後が良好であることから、血栓症による死亡を回避するため、積極的にVTEの早期発見・早期治療を行うことが望ましいと結論されました。その一方で、肺がんや膵がんなどではがんの終末期に凝固能を主体としたVTE多く発生し、腫瘍による圧排を伴わないことから、血栓症の予測が難しく、がんの予後が不良である時期ということもあり、適切な介入が必要であるとの見解を示されていました。

最終演題、福田先生からはCTRCD(がん治療関連心筋障害)についてのご講演をいただきました。アントラサイクリン系抗がん剤の心毒性による心筋障害は、予後が不良であり、がん治療に影響を及ぼすため、CTRCDを早期発見することで抗がん剤による心不全の発症を妨げる可能性を示唆されました。さらにCTRCDの早期発見にはエコー検査でのGLS(global longitudinal strain)が有用であり、ご自身の施設内での情報発信や、エコー検査のオーダーシステムについての取り組みについても紹介していただきました。

高齢化に伴い、循環器疾患を伴うがん患者はますます増加していくように思われます。エコー検査をはじめとした循環器領域の検査について、臨床側からの要望に応えるだけでなく、臨床検査技師側からも積極的に介入し、スタッフ間でのすみやかな情報・共有がなされることで、早期発見・早期治療につながるものと考えます。

今回私はWebでのセミナー参加でありましたが、音声トラブルに対する会場での臨機応変な対応やオンライン配信等の配慮により、無事に受講することができました。コロナ禍という社会を取り巻く環境が大きく変化している中で、会場とWebを併用した新しい情報発信の場が徐々に浸透しつつあると感じました。加えて、これまでは様々な制約により、なかなか会場に足を運べなかった研修会やセミナーにも気軽に参加することができるようになり、広い見識を得られる機会が増えたように感じます。スムーズな運用には課題も多くあるかと思いますが、必要な知識や情報を多くの方と共有できるよう、時代に即した新しい情報発信の場が設けられることの必要を改めて感じました。

報告年月日 : 令和2年12月22日

報告者・役氏名 :

公益事業部長 澁谷 雪子